

～ 感染予防 ～

毎年、秋から冬にかけて(12～3月)は、インフルエンザの流行するシーズンです。(例年になく、今年からは早くからの感染者がでていようです。)インフルエンザは、飛沫感染(感染した人のくしゃみ、咳、つばがとび別の人が口や鼻から吸い込み感染する)と接触感染(感染者がくしゃみや咳を手で押さえその手で周りの物に触れて別の人がそれに触ってウイルスが付着し感染する)があります。インフルエンザから身を守るためには、正しい手洗い、健康管理に気をつける、予防接種を受ける。

感染したら早めに病院受診し、安静、水分補給、咳エチケット(マスク装着・咳する時は他の人から顔をそらし口と鼻をティッシュなどで覆う・使ったティッシュはすぐに捨てる)を心がけましょう。感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

看護師 平尾 さおり

～ ハラスメント防止 ～

総合療育リハ・サービスでは、ハラスメント(相手に精神的・肉体的に苦痛を与える行為)の防止に取り組んでいます。

近年、セクハラ(性的な嫌がらせ)やパワハラ(職務上の優位を背景とした嫌がらせ)に関心が集まる一方で、“逆パワハラ”というものまでありますね。

逆パワハラとは、部下から上司へ、または同僚間でのハラスメントの事で、専門知識や経験・実績など何らかの優位性が“パワー”となる様です。

ちなみに・・・2018年9月時点で、〇〇ハラと略されるハラスメントが35～45種類に細分化されており、わたし達の何気ない行動がハラスメントになっているかも知れませんね。みんなで気をつけていきましょう。

ハラスメント



- | | |
|---------------|-------------|
| セクハラ | パワハラ |
| ・故意のスキンシップ | ・殴る、蹴る |
| ・性的冗談 | ・大勢の前での叱責 |
| ・うわさ話、陰口 | ・暴言を言う |
| ・挨拶しない(特定のみに) | ・無視、仲間はずれ |
- 相手が不快に感じる行為はすべてハラスメントです!!

新入職員紹介

林田 彩 看護師



9月から訪問看護ステーションたちばなで勤務する事になりました。今まで病院での勤務経験しかなく、訪問看護は初めてです。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。訪問で皆様に会えるのを楽しみにしています。

松本 美穂子 看護師



こんにちは。訪問看護師として働かせて頂く松本です。私も双子の子が、たちばなさんを利用させてもらっており二人とも大好きでいつも楽しみにしています。私も不安や心配が軽減されてます。訪問看護師として私も利用者様の支援だけでなく、そのご家族様の気持ちにも寄り添いながら支援していきたいと思ひます。よろしくお願いします。

松永 美樹 看護師



9月から「たちばな」でお世話になっている松永美樹です。よろしくお願いします。子どもが好きで、小児科、産婦人科で看護師を20年そしてここ7年程は里親家庭の母として生活しています。これからも、子ども達が元気にのびのびと生きていけるようにできることを精一杯やっいていこうと思ひます。

編集後記

秋、楽しい季節ですね。食欲の秋や芸術の秋など、皆さんはどの様な秋をお過ごしでしょうか？わたしは、今年こそ読書の秋にしたいなあ・・・と思いつつ、今まで本を買っても毎回Amazonから届く頃には熱が冷めてしまい、まだ読み始めていない本がたくさんあって、今年も積読が続きそうです。最後になりましたが、今回もたちばな誌が完成し、皆様にお届けできることを嬉しく思ひます。

事務 常田 祐輝

※ 本誌に使用している写真は、契約時に許諾を頂いた利用者様の写真を掲載しております。

NO.45

たちばな誌

☆HP QR☆



総合療育リハ・サービス
 〒851-0133 長崎市矢上町31番14号
 ☎ 095-838-7303
 F A X 095-838-7304
 E-mail tachibana.7303@ryouikuriha.com
 相談支援事業所 095-838-7305
 たちばな・やがみ 095-838-7306
 カミングホーム 095-838-8677
 うつつがわ 095-855-1522
 なめし 095-814-6100
 ほくよう
 発行責任者 山田 星三
 U R L http://www.ryouikuriha.com/

代表挨拶

チュービンゲン(南ドイツ)の横井さん子育て奮闘記
 ー日本で、ドイツでインテグレーションの取り組みを、また平和運動の活動までもー
 最近、朝晩の少しの時間を見つけては再度横井さんの手記(ダウン症のお子さんを育てつつご自身の活動を紹介)を読ませてもらっている。『命の輝き「パパとボク」』とのタイトルで書き下ろされたものだ。目次を紹介すると、序章 命の芽生え。一章 ボクの出産。二章 おもちゃライブラリー。三章 養護学校へ、そしてインテグレーション。四章 おばあさんと一緒。五章 夏休みと新年。六章 おばあさんとの別れ等々。ボク(ミヒヤエル君)を主人公に話が進んでいく。序章では日本の青年、横井秀治氏が治療教育学を勉強しようとしてドイツに渡ってチュービンゲンの女性と知り合いになり半年後結婚に至った馴れ初めが語られ、ボクが21番目の染色体が一本多いダウン症で生まれて来た厳しい状況。で、生きていくための戦いが物語られている。日本で、またドイツに移り住んでからも経済的に苦労しながらの子育て生活。章が進むに連れて日本に戻った時に訪れた広島や長崎の原爆平和資料館を見学して心に深く刻まれた思い、それからドイツに戻ってからずーっと毎年チュービンゲンの教会前広場で「広島・長崎を再び繰り返してはならない」、「核の無い世界を求めて」というテーマを掲げての平和への取り組み・活動が紹介されている。横井さんの今までの生き方・考え方(哲学)・人生の過ごし方がとても参考になる。もし、読んでみたいと思う読者の方がいたらお知らせ下さい。

山田 星三

☆ トピック ☆

北海道の旭川市及び近隣町で小児・重症心身障害児・者専門の在宅医療サービス事業を行っている「株式会社 はこぶね」の訪問看護ステーション 代表取締役/理学療法士の齋藤大地さんが長崎に見学に来られ、その時の御礼をFacebookでいただいたので紹介したいと思います。

『9月25日から27日まで、長崎県の総合療育リハ・サービスにお世話になり、見学させていただきました。在宅小児リハの原点に立ち返り、地域を支えるサービスを根っこから勉強させていただきました。代表の山田星三先生には、本当にご多忙の中調整して貰い、沢山の貴重な時間を使って、私が見て、触れて、話して、考えるその様子をそばで見させていただきました。何年も待ち望んだ、何にも代え難い時間でした。

先生から貰った種子を自分の畑でしっかり育てます。いつかまた見て下さい。どうも有難う御座いました。』



～ スポーツ大会のお知らせ ～

スポーツの秋!

日時:10月27日(土)13:30～15:30
場所:高城台小学校体育館



今年は、全事業所参加の行事として、上記の要領で風船バレーを使ったレクリエーションや対抗戦を行います。

『大運動会』とは違った新しい試みになりますが、皆様にご参加いただき賑やかなスポーツ大会になることを願っています。

詳細な案内や参加申込は、後ほど各事業所からお配りすると思ひます。ご家族で奮ってご参加ください。



多機能型事業所 たちばな



プールに、カフェでのランチ、消防署では強風や消火の体験又、異年齢のお友だちとの交流と・・・色々な体験を楽しんだ夏でした。インフルエンザのニュースもが聞かれるようになりました。たちばなでも手洗いうがい予防に努めていきます。

児童発達支援管理責任者 森山 佳代

多機能型事業所 やがみ



心地よい秋風の季節となりました。猛暑と言われたこの夏様々な予定を変更しながらやがみの子ども達は、海・フェスタ・コンサート・屋台ごっこなど、夏休みを元気に過ごしました。この夏で子ども達のたくさんの成長を感じることができました。

児童発達支援管理責任者 増丸 千代香

多機能型事業所 カミングホーム うつつがわ



溶けるような毎日の夏休みを無事に終え、2学期が始まりました。さっそくカミングの畑には冬野菜の種を蒔き、収穫にむけて手入れをしていきます。2学期はたくさんの学校行事も行なわれるので、子ども達の疲れ具合に気を配りながら、楽しく活動していきたいと思ひます。

児童発達支援管理責任者 萩田 優一

多機能型事業所 なめし



猛暑の夏があつという間に過ぎましたね。なめしでは、夏休み中、海へ行きました！3日予定して、1日は悪天候のため、ココウォークへお出かけしました。あまりお出かけする機会を作れずにいますが、子ども達のいつもと違った表情を見ることができ、スタッフも一緒に楽しみました♪

児童発達支援管理責任者 石田 いずみ

多機能型事業所 ほくよう

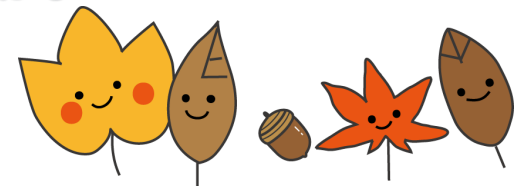


長い夏休み、大きなケガもなく無事に終わることができました。今年の夏休みは、学校や他事業所と連携を図る会議が開かれ、利用児様の様子や支援の方法について学べる機会がたくさんありました。今後も続けてもらいたと思います。

児童発達支援管理責任者 岩永 恵

訪問看護ステーションたちばな

日照りの夏が終わり、過ごしやすい秋になりました。食欲の秋、スポーツの秋、そして、芸術の秋です。県立美術館の10月6日からの企画展がユニークです。「明和電気ナンセンスマシンin長崎」です。



まったく役にたたない機械を作り続けて25年。世界で活躍する愉快的電気屋さん「明和電機」が開発した、およそ250点の不思議な機械が大集合する展覧会だそうです。美術館の屋上からは、明治から働き続ける、世界遺産のジャイアントカバチクレーンをみるのも面白そうです。訪問の折には、皆様の秋の過ごし方をお聞かせください。楽しみにしております。

看護師 野口 郁恵

音の広場 ~ オーシャンディスク ~

この楽器の名前はオーシャンディスク。米国ニューヨークマントサイナイ病院レイ・アームストロング音楽療法センターの音楽療法士が、パーカッション楽器を専門としているRemo社と共同開発したものです。



楽器の表面にはFirst Sound (最初の音)と表記されています。胎児期母体内の音を再現しています。Rhythm(リズム), Breath(呼吸)and Lullaby(子守唄)・・・この楽器の音色に(波の音に似ています)リラックスする子どもたちです。

音楽療法士 濱崎 由紀

研修会報告 ~ からだ探検隊 ~

カミングでは、利用児の年齢が高くなってきており、「性教育」の課題が年々出てきていました。そこで事業所としてどのように対応し、子どもたちや保護者に伝えていくかを考え、「うつつがわ からだ探検隊」として取り組んでいくことにしました。

8月の全体ミーティングでは、実際どのようなことを行なっていくのかを、他事業所の職員に見てもらいました。発表の準備を進めていく中で、私たちスタッフにとっても勉強になることが多くありました。今まで勉強したことも含め、今後も日頃の子どもの療育に役立てていきたいと思ひます。



保育士 高銚 紋子